

私立大学情報教育協会  
平成27年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

D-3班 CIC

1

発表テーマ

職員が積極的に関わりを持つ  
学修支援の在り方について

3

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### テーマ選定理由(1) 大学の役割

社会が大学に求めること

- 社会に貢献できる人材の育成  
→前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、学び続ける力(経済産業省の社会人基礎力より)、コミュニケーション力、忍耐力、協調性、など。

私たちが考えた大学の役割

- 社会に貢献できる人材の輩出  
→目標設定や課題解決力を備えた人材を育成すること。

4

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学を取り巻く環境

- ユニバーサル化・学生の多様化

大学の現状はどうだろうか？

大学が輩出する学生の質が保証されていない

- ①学生の学習意欲が低下している。
- ②学生生活と大学での学びに価値を見出せない学生が増えている。

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- ①学生の学習意欲を向上させる仕組み  
(適切に授業を評価し、改善結果を授業やカリキュラムに反映させる仕組み)
- ②全学的な離籍者対策

5

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

- ① 学生のキャンパスライフをトータルにサポートする必要がある
- ② 学生からの評価を教員に適切にフィードバックし、授業を改善すること

⇒職員だからできること:

教員と連携しながら、広範な視野で学生の学修支援に積極的な役割を果たす。

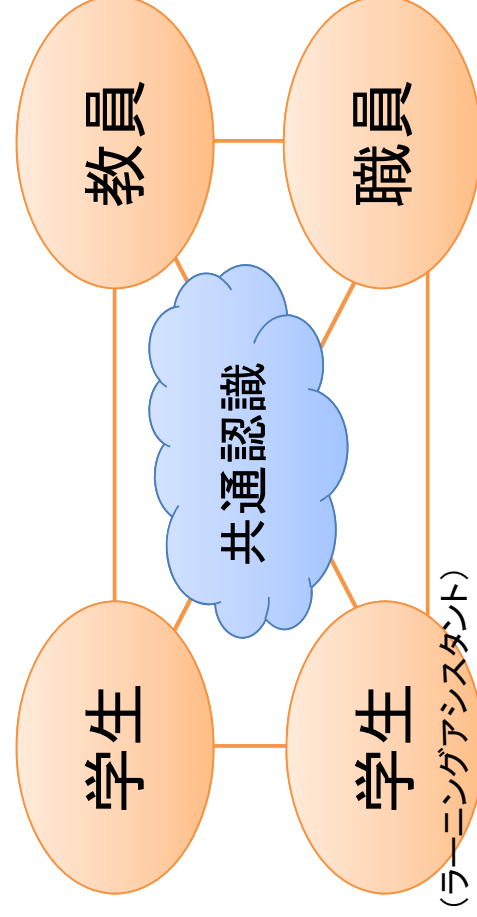


## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の 在り方について

6

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### 私たちの理想

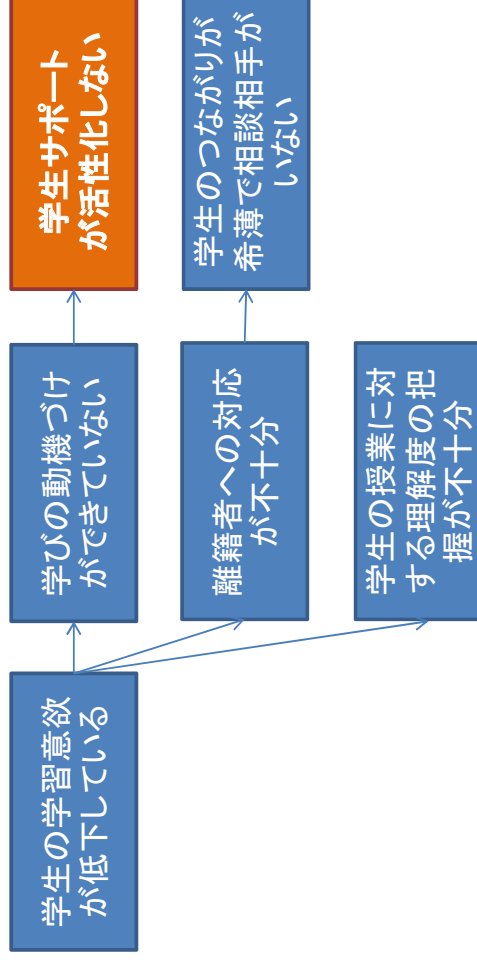


学生・教員・職員が共通認識(目標、理念)をもって、相互にサポートする体制

7

# 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

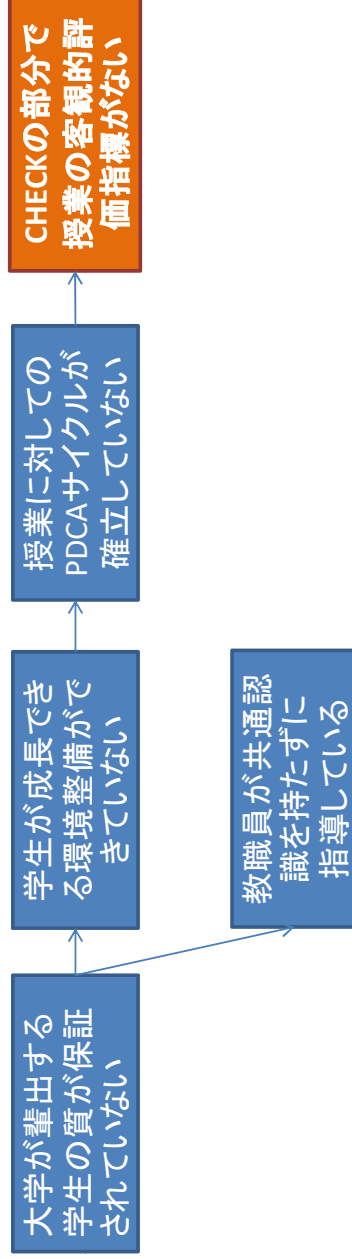
## 問題点の深堀①



8

# 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

## 問題点の深堀②



9

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### 解決策の検討

学生サポートが活性化しない

- 学びの動機づけができない。
- 学生のモチベーションを上げるために、職員からの働きかけをもっとできないか？
- 「授業の評価」ではなく、「授業を受けた自分の評価」を行ってみては？

授業におけるPDCAのCHECKの部分で有効な方策は？

<現状>

- 授業評価アンケート、学生アンケートを活用できない。  
(適当に回答する学生、「単位をくれるから」高評価にする学生)
- 授業評価に対するフィードバックが不十分なため、学生に納得感がない。

⇒学生自身が学びの目標を設定し、達成度を確認できる仕組みが必要。

## 職員が積極的にに関わりを持つ学修支援の在り方について

### 大学のイノベーションの提案①

#### ■ 提案の概要

#### 目標管理システムの導入とキャンパスライフのサポート

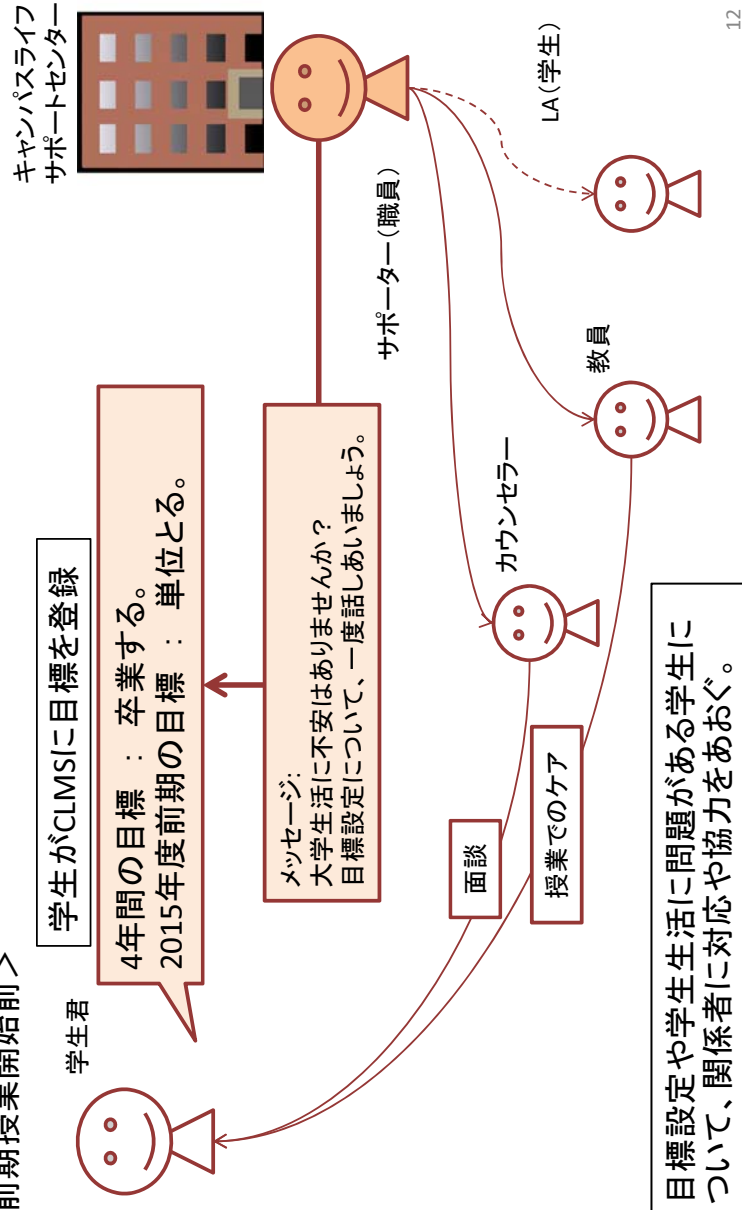
- 何を問題として捉えたか
  - 学生への学びの動機づけができない。
  - 授業に対するPDCAサイクルが十分に回せていない。
- 問題を解決する方法として何を提案するのか  
<CLMS: Campus Life Management System (目標管理システム)>  
大学における活動(授業、部活・サークル、ボランティア等)に対して学生に目標とその目標に対しての自己評価を入力させる。  
教職員が担当する学生に対して、目標管理システムに入力された目標や自己評価、学生からのコメント等にフィードバックを行う。

<キャンパスライフサポート制度>

自己管理が難しい学生に対して、教員・職員・カウンセラーが適切なサポートを行う。  
また、学生によるラーニングアシスタントを導入し、学生同士のつながりを強化する<sup>1)</sup>。

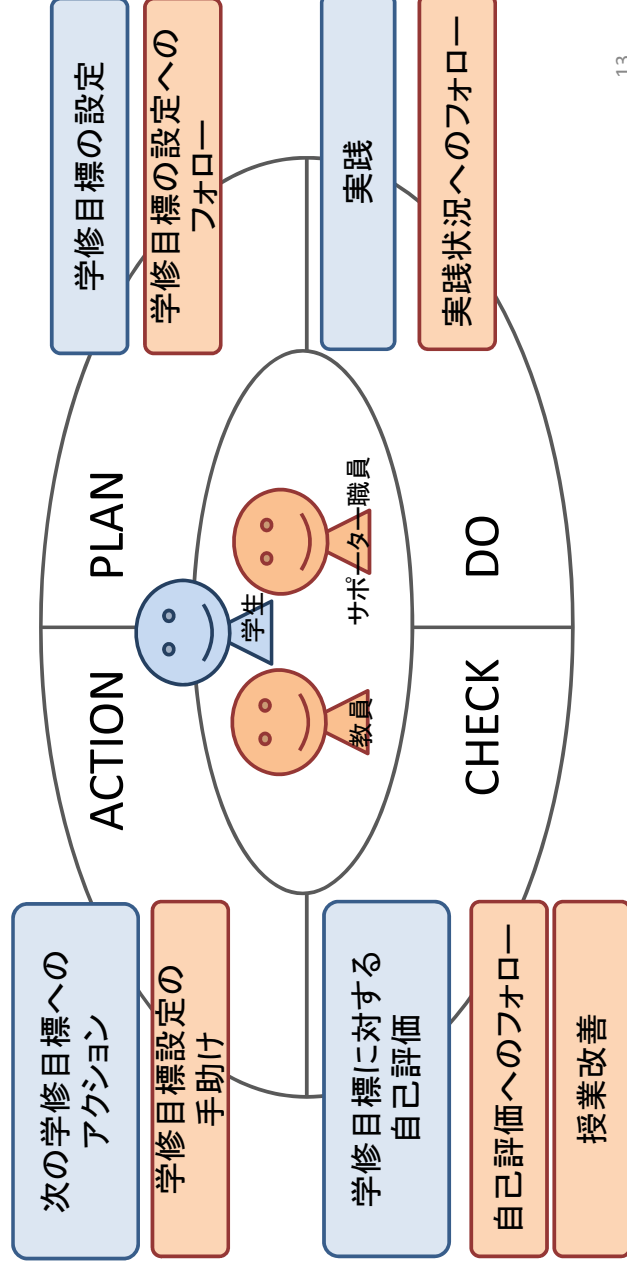
# イメージ図

＜前期授業開始前＞



# イメージ図

学生とサポーター職員が一緒になってPDCAサイクルを回す。  
学生の目標達成度に応じて、授業の内容を改善する。



## 大学のイノベーションの提案②

- 実現へのアプローチ
  - ① 大学としての取り組み
    - ・システム導入
    - ・教職員に対するキャンパスライフサポート研修の実施
    - ・ラーニングアシスタントへの教育
    - ・学生の居場所づくり
  - ② 職員の役割
    - ・学生へのトータルな支援の窓口となる
  - ③ 実現にあたっての課題
    - ・職員、教員のアクセス制限規定をどうするか。(学生のコメントに匿名性を持たせる。)
- 解決されたときの姿(どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか?)

離籍者数の低減。

学生が高いモチベーションと目的意識を持って授業に臨む。

学生が部活やサークル、ボランティアなど、生き生きとした学生生活を送る。

⇒「この大学の卒業生は全員素晴らしい！」と言われる!